化学変化と質量の比 できる質量・結びつく酸素（8問）　版Aの答え

※ 酸化物の質量＝金属＋酸素。銅なら 4：1：5、マグネシウムなら 3：2：5 の比を先に書いてから計算します。

---

(1) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。

銅 12 g と結びつく酸素は何 g か。

＝ 3 g

(2) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。

銅 9.2 g と結びつく酸素は何 g か。

＝ 2.3 g

(3) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。

マグネシウム 11.7 g を完全に酸化させると、

酸化マグネシウムは何 g できるか。

＝ 19.5 g

(4) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。

銅 6 g を完全に酸化させると、

酸化銅は何 g できるか。

＝ 7.5 g

(5) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。

マグネシウム 6.9 g と結びつく酸素は何 g か。

＝ 4.6 g

(6) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。

マグネシウム 16.8 g を完全に酸化させると、

酸化マグネシウムは何 g できるか。

＝ 28 g

(7) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。

マグネシウム 17.7 g と結びつく酸素は何 g か。

＝ 11.8 g

(8) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。

銅 5.6 g を完全に酸化させると、

酸化銅は何 g できるか。

＝ 7 g